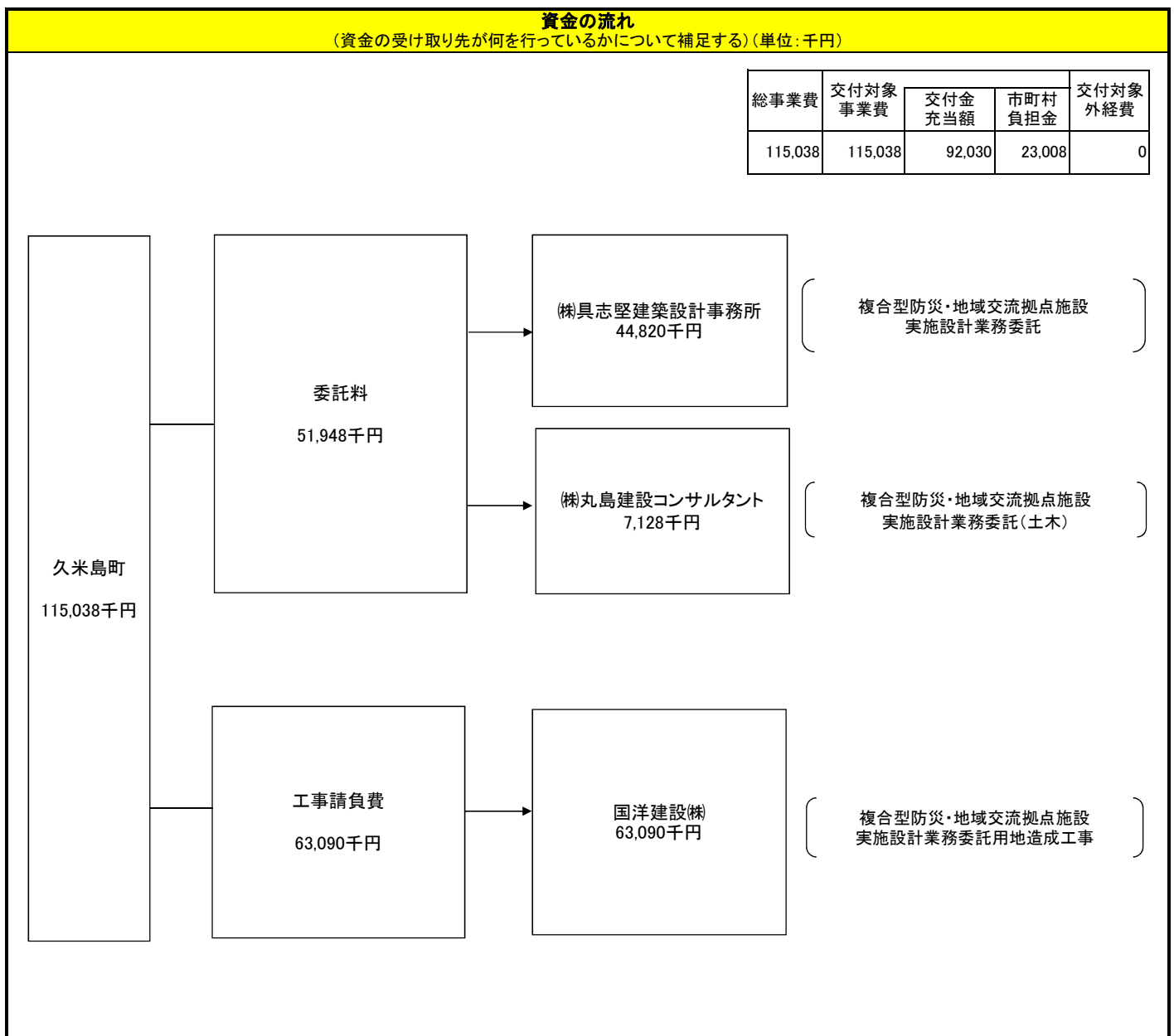


市町村名		久米島町										
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	4-①	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ						
担当部課名	企画財政課、建設課、教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 III-9						
事業内容	災害時は、住民及び観光客等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。											
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)											
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		H30年度(繰越)		R1年度		R2年度		
		(a) 当初予算額	17,000	113,879	—							
		(b) 予算現額	18,850	119,020	—							
		(c) 増減額(b-a)	1,850	5,141	—							
		(d) 繰越額	—	0	15,981							
		A. 計(b+d)	18,850	119,020	15,981							
		B. 執行済額	18,850	103,039	11,999							
		うち交付金充当額	15,080	82,431	9,599							
		次年度繰越額	0	15,981	—							
		執行率(%) (B/A)	100.0%	86.6%	75.1%							
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計(土木)完了し当初の残土処理の2,500㎡の増及び赤土流出対策工の追加により5,141千円を増額した。 ・隣接する福祉施設と施工方法(振動・騒音等)調整及び対応に不測の日数を要したため15,981千円を次年度に繰り越した。 ・当初計画していた一部を繰越したが工事はすべて完了した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 										
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況									
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度						
	建築実施設計	目標	()	(実施設計)	()	()						
		実績			実施設計完了							
	用地造成実施設計	目標	()	(実施設計)	()	()						
		実績			実施設計完了							
基本設計の策定	目標	(基本設計の策定)	()	()	()							
	実績		基本設計の策定完了									
達成状況説明		平成29年度に策定した基本設計を踏まえ、平成30年度は実施設計(土木)・(建築)を完了した。しかし、造成工事においてはR1年度に一部繰越し、5月末に完了した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R2年度)					
	拠点施設の実施設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	()					
		実績			完了							
	【R2成果目標】(災害時) ・施設を利用した避難訓練(2回/年(うち観光シーズンの実施1回))を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	()	2回 80%以上				
		実績										
	【R2成果目標】(平常時) ・施設の年間利用者数 延べ3,800人以上(図書館のみの利用は除く)	目標	()	()	()	()	()	3,800人以上				
実績												
【R2成果目標】(平常時) ・図書館の年間貸出冊数44,300点以上	目標	()	()	()	()	()	44,300点以上					
	実績											
進捗状況説明		・複合型防災・地域交流拠点施設の実施設計(土木)・(建築)及び造成工事を完了した。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	災害時の避難場所としての機能及び生涯学習や図書館などの地域交流拠点としての機能を備えた複合型施設を整備するため、平成30年度事業において実施設計及び用地造成工事を実施した。 令和元年度事業では建築工事等を行うとともに、供用開始に向けた準備を進めていく必要がある。	令和元年度事業では建築工事、機械設備工事、備品購入、図書システムの構築を行い、令和2年度に供用を開始する。 また、供用開始後の施設運営のための各利用規程の策定や、施設を使用した避難訓練の準備を行う。
今後の取り組み方針		
令和2年度の供用開始に向けて整備工事を実施し、災害時の拠点づくり及び地域交流拠点づくりを行う。 供用開始後は、施設を利用した避難訓練を実施し、安全・確実に避難できたかを訓練参加者に対するアンケート調査により確認するほか、平常時の施設の年間利用者数や図書の年間貸出冊数を元に、当施設の効果の検証を行っていく。		



資金の流 れ 検 査 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の約4%以内であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	